

**令和2年度「電波の日・情報通信月間」表彰を実施**  
－電波及び情報通信の発展に貢献された個人及び団体を表彰－

近畿総合通信局（局長 佐々木 祐二（ささき ゆうじ））は、近畿情報通信協議会（会長 小林 充佳（こばやし みつよし）西日本電信電話株式会社 代表取締役社長）と、令和2年度「電波の日・情報通信月間」に伴い、電波及び情報通信分野の発展に貢献した個人及び団体を表彰します。

<表彰案件>

- 「電波の日」近畿総合通信局長表彰（別紙1）
- 「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰（別紙2）
- 近畿情報通信協議会会長表彰（別紙3）

<電波の日とは>

昭和25年（1950年）6月1日に電波法、放送法及び電波監理委員会設置法が施行され、それまで政府に限られていた電波の利用が広く国民に開放されました。これを記念して6月1日が「電波の日」に定められ、今年で70回目を迎えます。

<情報通信月間とは>

昭和60年（1985年）の情報通信の制度改革を契機に情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられました。毎年5月15日から6月15日までの期間中に各管内で情報通信に関する様々な行事を開催しており、今年で36回目を迎えます。

<近畿情報通信協議会とは>

平成15年（2003年）、情報通信の健全な普及発展と情報通信の利用による国民生活の向上に寄与するとともに、会員相互間の緊密な連絡と親睦を図ることを目的に設立されました。地方自治体、電気通信事業者、放送事業者、有識者など197会員で構成されています。

連絡先：総務部総務課  
（担当：川崎、岩田）  
電話：06-6942-8510

「電波の日」近畿総合通信局長表彰

団 体

**公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山県地域医療支援センター 様**

(代表：地域医療センター長 上野 雅巳 様)

第5世代移動通信システムを用いた遠隔診療サービスの高度化に関する実証実験を実施し山間部・過疎地等の地域医療が抱える課題解決に向けた遠隔医療支援システム実現に多大な貢献をされました。

**DXアンテナ株式会社 様**

(代表：代表取締役社長 長代 輝彦 様)

医用テレメータの受信不良等のトラブル解決のため長年培った経験と高度な技術力を駆使し医用テレメータの安定受信のためのアンテナや受信システムを開発し医療機関における安心・安全な電波利用に多大な貢献をされました。

「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰

個人

工藤 陽介 様

(株式会社ドリーム・トレイン・インターネット  
トーンモバイル TONE 事業部長)

インターネット・リテラシー向上並びにサイバーセキュリティ対策推進のため多数のセミナー講師を務めるなど長年にわたり ICT の安心・安全な利用に関する取組に尽力し地域における情報通信の利用環境整備に多大な貢献をされました。

団体

公益財団法人大阪産業局 様

(代表：理事長 立野 純三 様)

世界に挑戦する起業家が集まるイノベーション創出拠点として「大阪から世界へ」をテーマに新たな事業の創出につながるイベントを多数開催する等 ICT ベンチャーの支援を行うことで地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をされました。

京都府 様

(代表：知事 西脇 隆俊 様)

総務省との共催により開催した「オープンデータリーダー育成研修」等を活用し「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」で目標とされているオープンデータ取組率 100%を達成し地方公共団体のオープンデータ化に多大な貢献をされました。

奈良県三郷町 様

(代表：町長 森 宏範 様)

総務省が実施した「ふるさとテレワーク推進事業」及び「地域における I o T の学び推進事業」を活用し積極的な企業誘致活動や小学生へのプログラミング教育に取り組むなど ICT の利活用と人材育成に多大な貢献をされました。

近畿情報通信協議会会長表彰

個人

濱口 伸 様

(株式会社毎日放送 コンテンツビジネス局 ITビジネス部 部次長)

放送通信連携サービスの開発に従事され特にスポーツを中心としたライブ配信のためのシステムを開発するとともにテレビ番組のネット配信についてサーバレスアーキテクチャを採用した動画配信サイトを構築するなど番組配信技術の開発や基盤整備に多大な貢献をされました。

栗津 千草 様

(株式会社ジェイコムウェスト お客様サービス推進統括部)

永年にわたり近畿地域の小学校、中学校を中心に多くの生徒、保護者、教職員及び地域住民に対して情報リテラシーの啓発活動に従事するとともに変化する環境に合わせて受講者の理解度を上げる取組を行うなど情報リテラシーの向上に多大な貢献をされました。

団体

京都府立工業高等学校 様

(代表：校長 大島 浩樹 様)

永年にわたり電気通信技術に係る専門知識の教授に努められ難易度が高い上位資格を取得した卒業生を数多く社会に送り出しその指導方法を地域の教育関係者に積極的に紹介するなど高度化かつ複雑化する情報社会の人材育成に多大な貢献をされました。